

さぎん 会社説明会

「元気で暖かい銀行、どこか違う銀行」を目指して

平成25年11月

※本編は平成25年6月に開催いたしました会社説明会の資料の一部について
計数に関する部分を平成25年9月期の計数に置き換えたものです。



目次

1. 平成25年度中間期損益の状況	…	3
2. 預貸金の状況	…	4
3. 役務取引等利益の状況	…	5
4. 有価証券の状況	…	6
5. 自己資本比率・Tier I 比率の推移	…	7
6. 不良債権比率の推移	…	8
7. 与信リスクの分散	…	9
8. 統合的リスク管理	…	10
9. 福岡戦略の成果	…	11

1. 平成25年度中間期損益の状況

項目	番号	平成24年度 中間期	平成25年度 中間期	前年比	備考
業務粗利益(除く債券5勘定戻)	1	16,061	16,759	+698	
〃 (含む 〃)	2	17,035	16,845	△ 190	
資金利益	3	13,230	12,576	△ 654	
資金運用収益	4	13,831	13,193	△ 638	
貸出金利息	5	10,423	9,712	△ 711	△6.8% { 貸出金平残 +2.1% 貸出金利回り △8.7%
有価証券利息配当金	6	3,291	3,367	+76	+2.3% { 有価証券平残 +6.9% 有価証券利回り △4.3%
その他	7	116	112	△ 4	
資金調達費用	8	600	616	+16	預貸金利 0.43% → 0.32% (△0.11%ポイント)
預金等利息	9	474	482	+8	
その他	10	126	133	+7	
役務取引等利益	11	1,550	1,642	+92	
役務取引等収益	12	3,031	3,183	+152	投信信託関係+134 年金保険関係△38
〃 費用	13	1,480	1,540	+60	
債券5勘定戻	14	974	85	△ 889	バイライト取引による国債等債券売却損 2,378(前年比+1,209)
その他の業務利益	15	1,279	2,540	+1,261	バイライト取引のオプション料 2,380(前年比+1,211)
経費	16	12,046	12,050	+4	
コア業務純益(除く債券5勘定戻)	17	4,014	4,709	+695	
〃 (含む 〃)	18	4,988	4,794	△ 194	
クレジットコスト	19	137	△ 602	△ 739	クレジットコスト = △0.09% (△0.11%ポイント)
一般貸倒引当金繰入額	20	△ 751	△ 423	+328	貸出金平残
個別貸倒引当金繰入額	21	871	△ 137	△ 1,008	
債権売却損等	22	16	△ 41	△ 57	
その他の臨時損益	23	△ 4,054	△ 300	+3,754	株式等償却 △3,775
経常利益	24	796	5,096	+4,300	
特別損益	25	△ 391	△ 227	+164	固定資産減損 △142
税引前当期純利益	26	404	4,868	+4,464	
法人税等・法人税等調整額	27	323	1,507	+1,184	
当期純利益	28	81	3,360	+3,279	

※単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 預貸金の状況

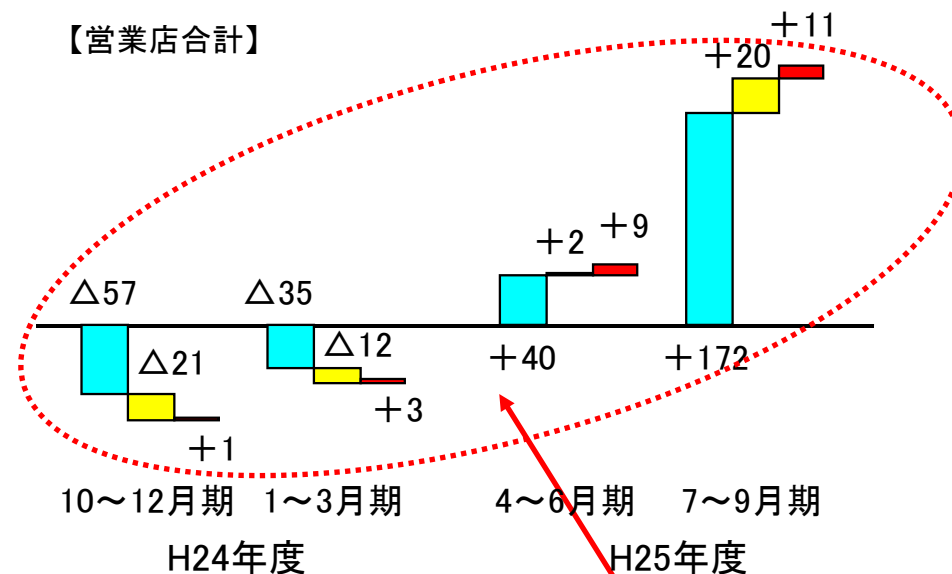
1. 貸出金の状況

(単位: 百万円)

		平成24年度上期	平成25年度上期	前年比
貸出金全体	平残	1,208,118	1,234,488	+26,370
	利回り	1.720%	1.569%	△ 0.151%
	利息	10,423	9,712	△ 711
うち事業性	平残	651,652	662,309	+10,657
	利回り	1.433%	1.277%	△ 0.156%
	利息	4,681	4,241	△ 440
うち住宅ローン	平残	275,651	276,797	+1,146
	利回り	1.887%	1.719%	△ 0.168%
	利息	2,609	2,386	△ 223
うち消費者ローン	平残	36,795	37,836	+1,041
	利回り	8.028%	7.955%	△ 0.073%
	利息	1,481	1,509	+28

《貸出金平残四半期別前年比》

【営業店合計】



※ 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

平成25年度に入り、貸出金平残は前年比増加に転じる。

2. 預金等の状況

(単位: 百万円)

		平成24年度上期	平成25年度上期	前年比
預金等全体	平残	1,918,685	1,981,173	+62,488
	利回り	0.049%	0.048%	△ 0.001%
	利息	474	482	+8
うち個人預金	平残	1,331,006	1,366,524	+35,518
うち法人預金	平残	413,526	439,490	+25,964

※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

※ 貸出金の状況における事業性貸出金、住宅ローン、消費者ローンの平残については、管理会計の正常貸出金ベースで作成しております。

3. 役務取引等利益の状況

	平成24年度 中間期	平成25年度 中間期	前年比
役務取引等利益	1,550	1,642	+92
役務取引等収益	3,031	3,183	+152
うち受入内国為替手数料	1,208	1,203	△5
うちCD・ATM手数料	164	208	+44
うちEB関係手数料	99	102	+3
うち口座振替手数料	518	521	+3
うち投信関係手数料	236	371	+135
うち保険窓販手数料	284	245	△39
役務取引等費用	1,480	1,540	+60
うち支払内国為替手数料	292	324	+32
うちローン関係保険料・保証料	965	992	+27

内国為替決済関連手数料は増加に転じる
①+②+③+④-⑤=+13

①
②
③
④
⑤

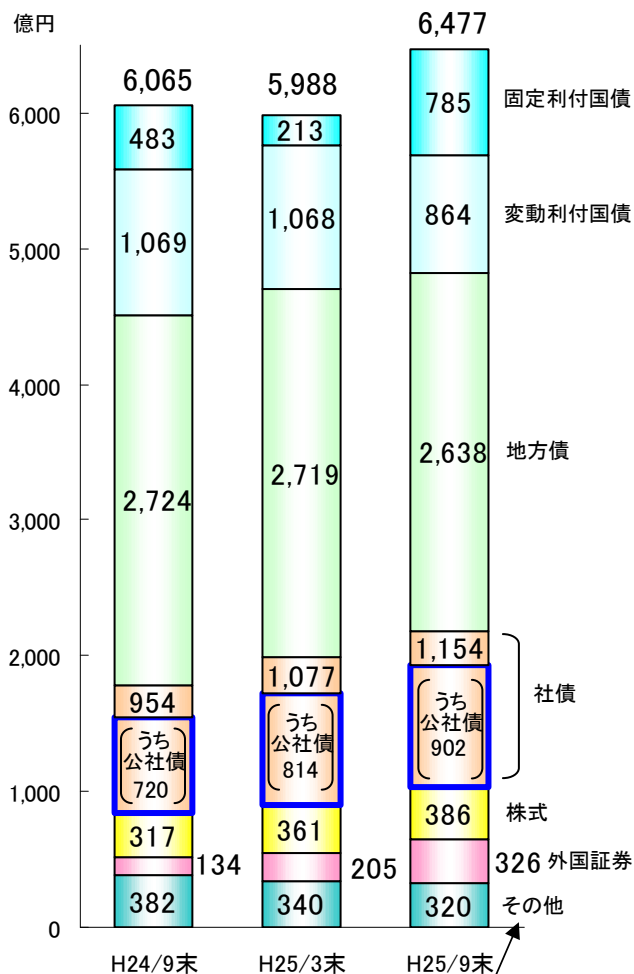
投信関係手数料は株式市場の回復に伴って増加傾向

カードローン残高の増加に伴う保証料増加によるもの

※ 単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

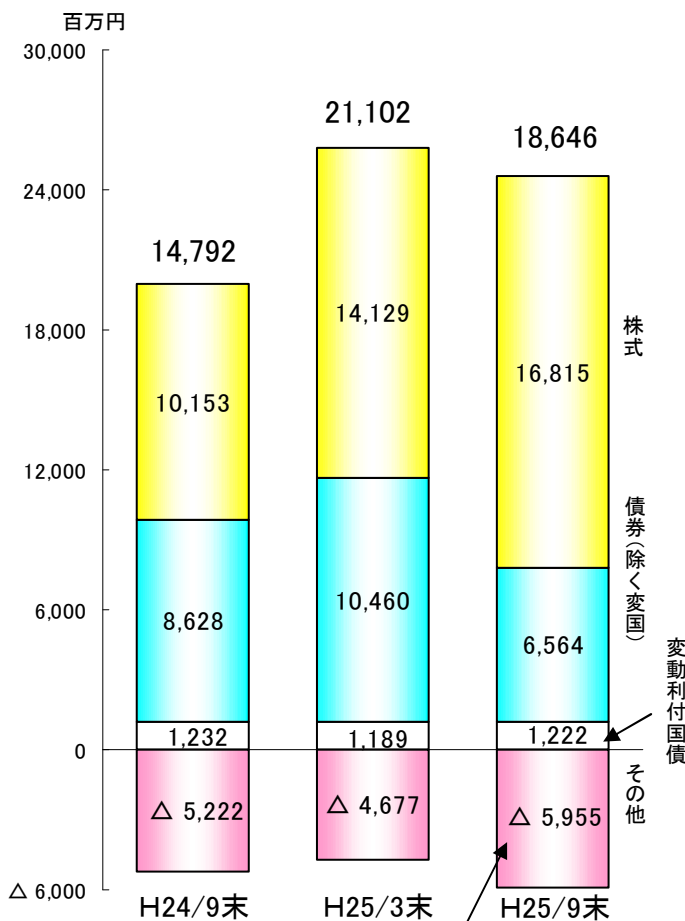
4. 有価証券の状況

1. 有価証券残高(BS計上額)



「その他」の内訳
 REIT 10
 その他の投資信託 304
 投資事業組合 6

2. 「その他有価証券」の評価損益

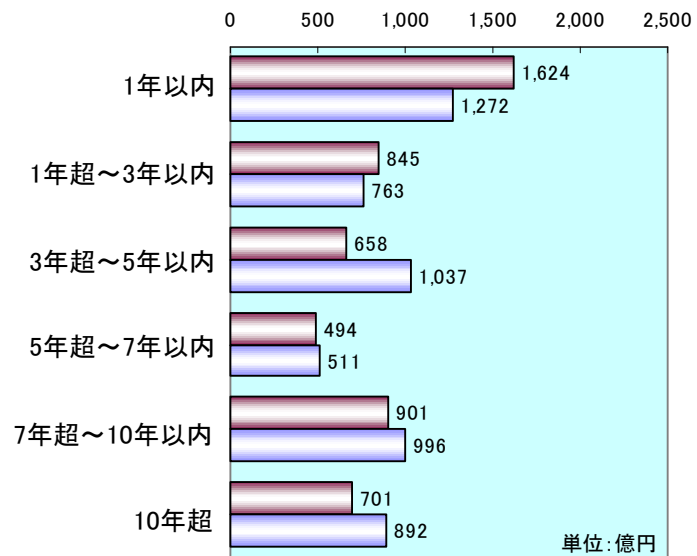


うち「△5,737」は金利リスクヘッジのための債券ベア型投信

※百万円未満は切り捨てて表示しております。
 ※変動利付国債は市場価格による評価を採用。

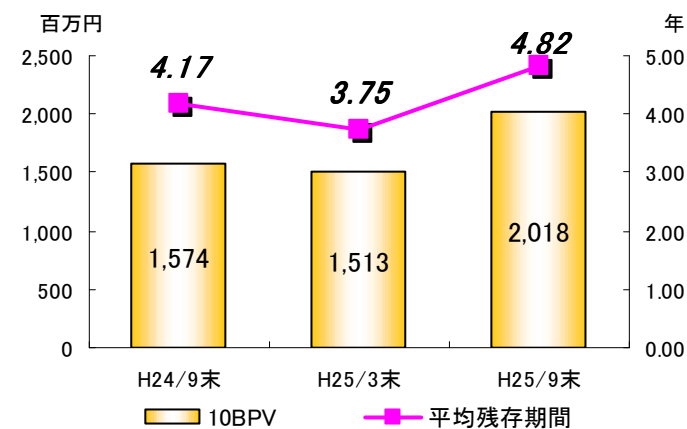
うち「238」は金利リスクヘッジのための債券ベア型投信

3. 円建債券の残存期間別残高



※上段：H24/9末、下段：H25/9末
 ※「1年以内」には変動利付債を含む。
 ※億円未満は切り捨てて表示しております。

4. 円建債券の平均残存期間と10BPV



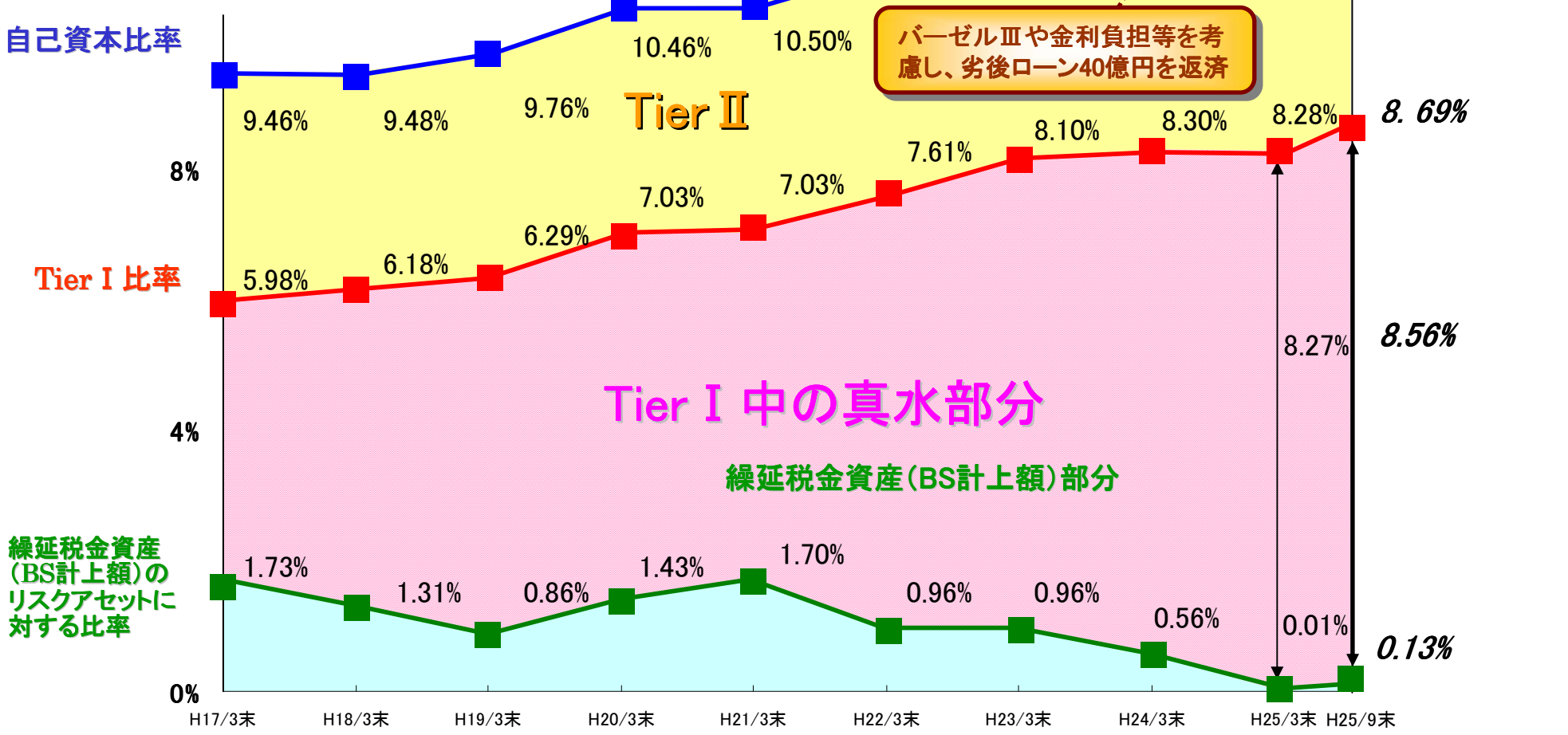
※平均残存期間は変動利付国債は0.5年として算出。
 ※平均残存期間および10BPVはヘッジ考慮後に算出。

※億円未満は切り捨てて表示しております。

5. 自己資本比率・Tier I 比率の推移

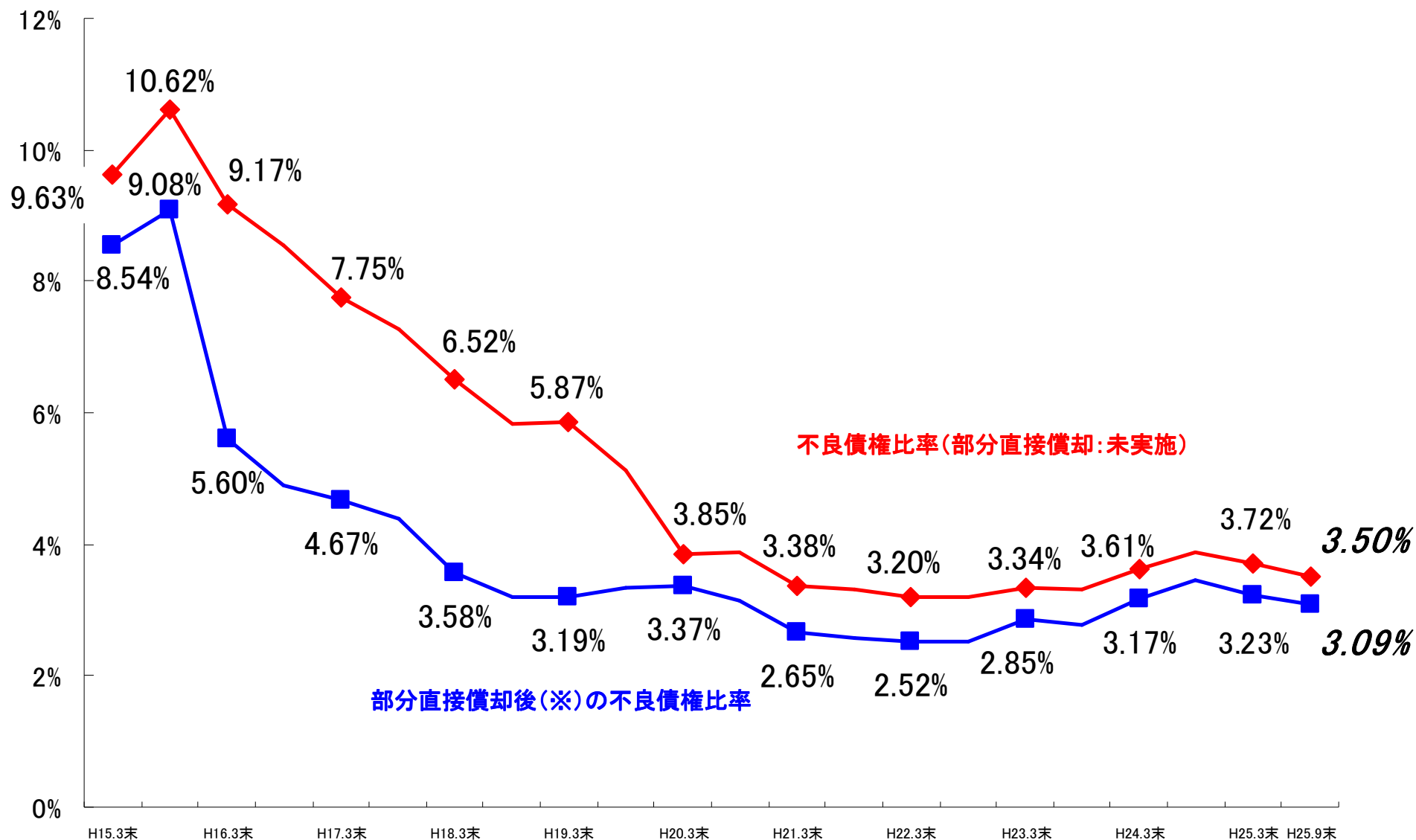
			H25/3末	H25/9末
自己資本	(百万円)	A	101,685	102,706
うち Tier I	(百万円)	B	76,380	79,416
※繰延税金資産(BS計上額)		C	48	1,246
リスクアセット	(百万円)	D	922,280	912,902
自己資本比率	(%)	A/D	11.02	11.25
Tier I 比率	(%)	B/D	8.28	8.69
繰延税金資産控除後Tier I 比率	(%)	(B-C)/D	8.27	8.56

利益の積上げにより自己資本が増加。



※「H18/3末」までは旧基準、「H19/3末」以降は新基準にて算出。新基準における信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

6. 不良債権比率の推移



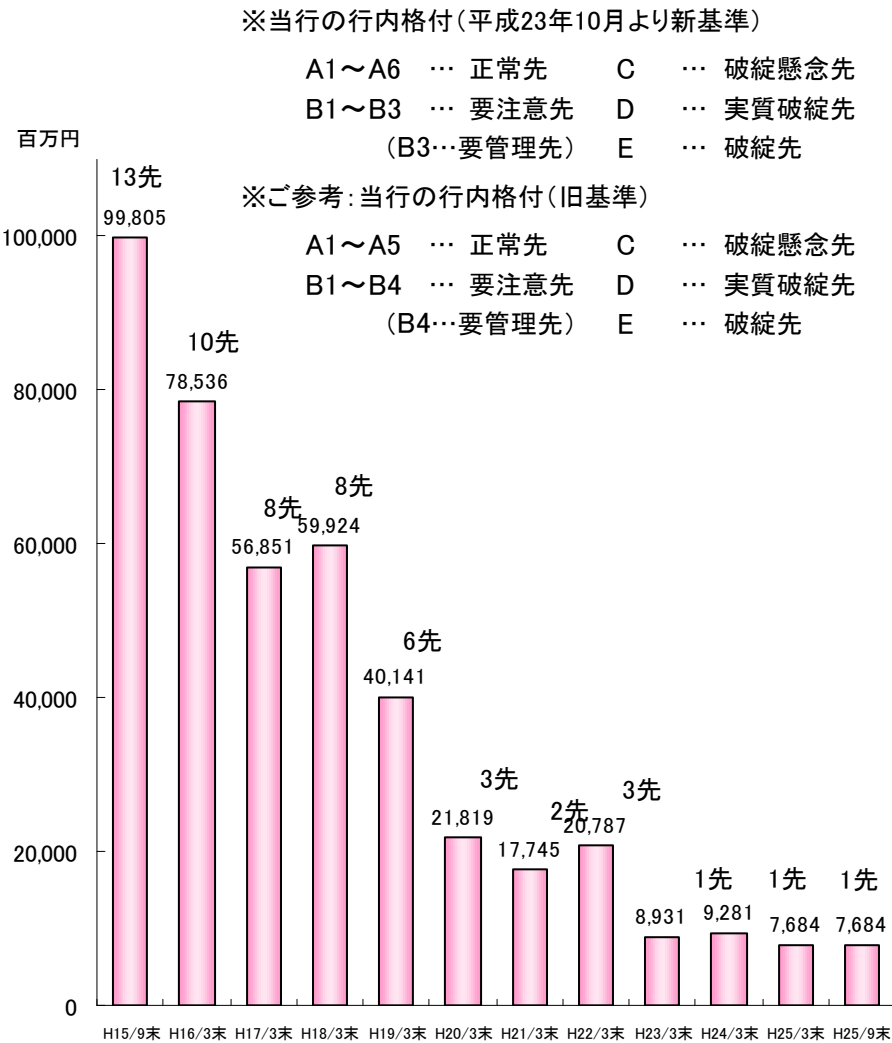
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

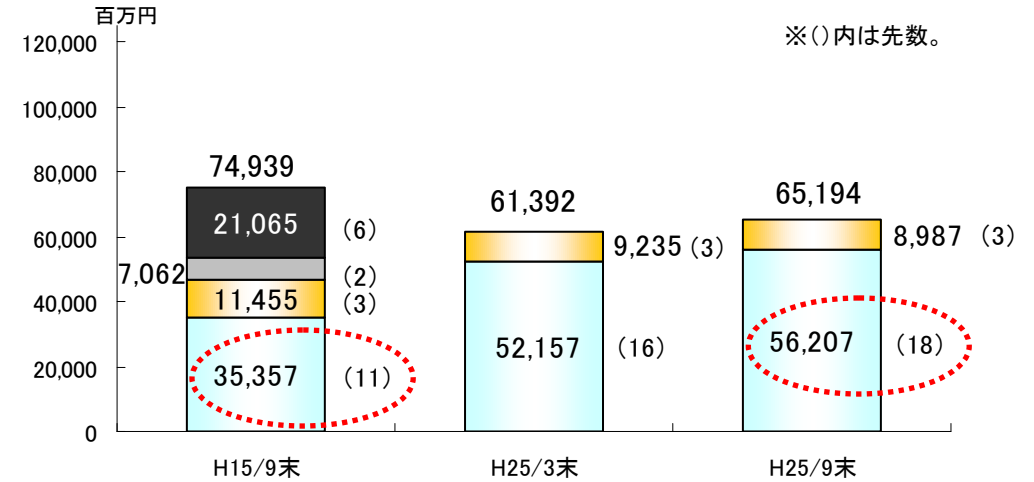
※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

7. 与信リスクの分散

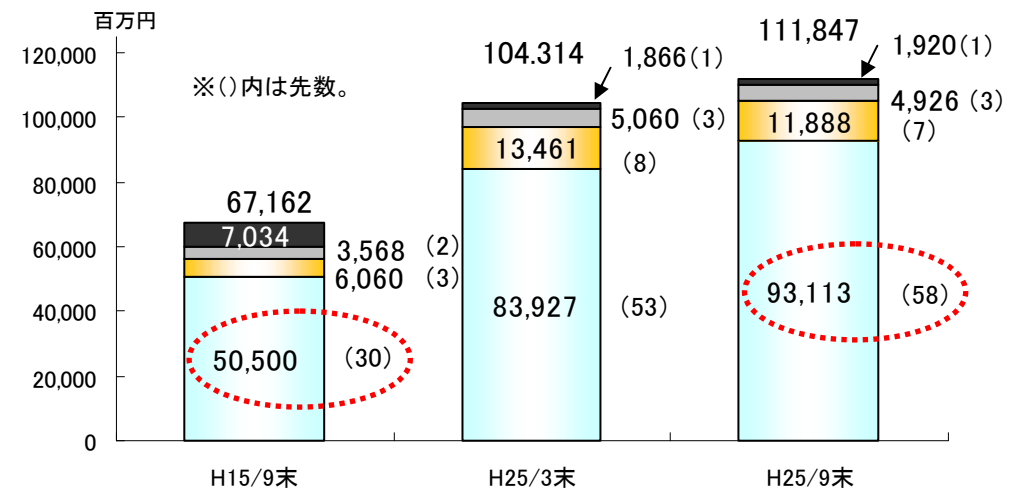
1. 1先与信額50億円超



2. 1先与信額25億円超50億円以下



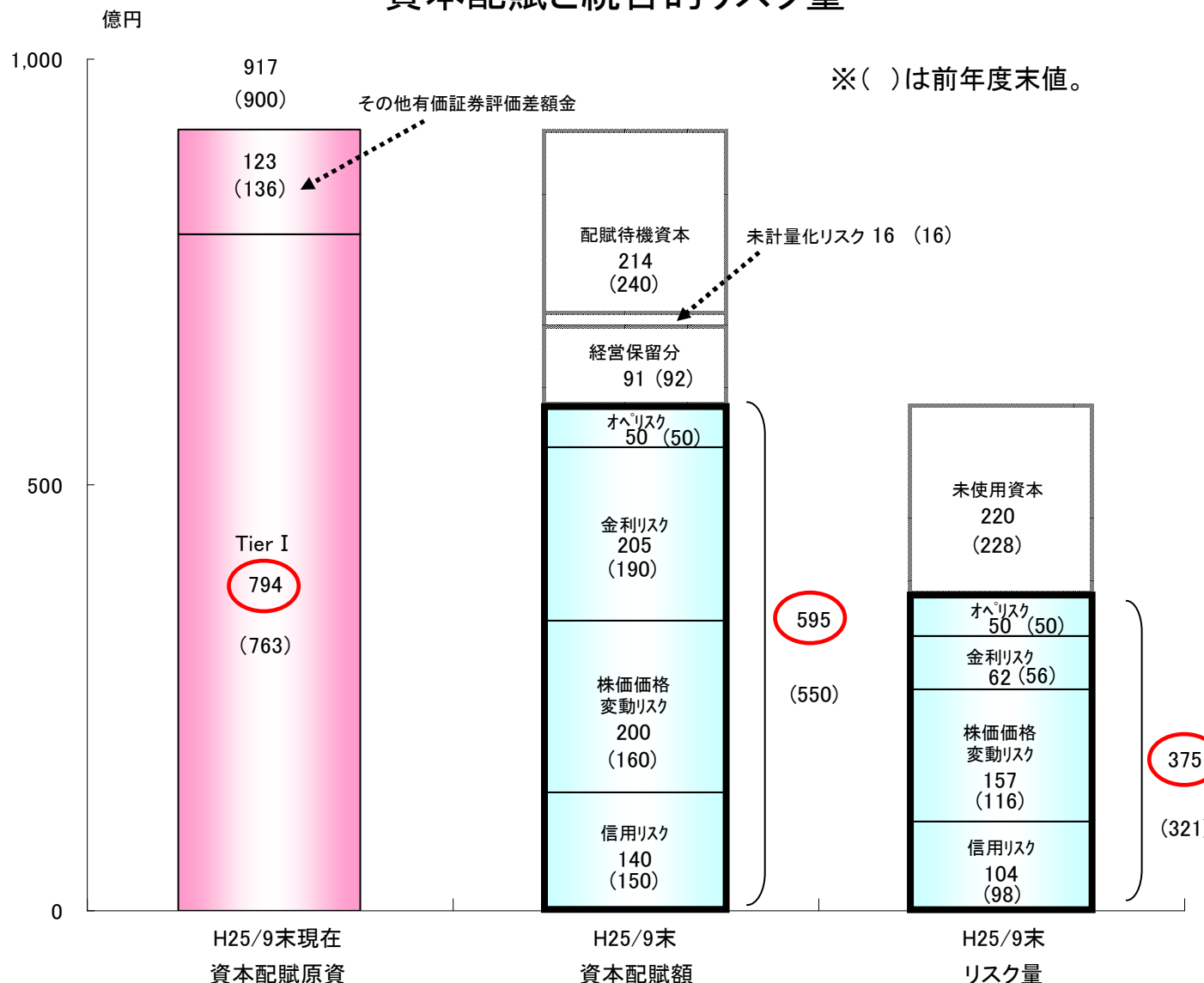
3. 1、2以外の信用与信額10億円超



H23/9末以前→	A先	B1先	B2~B4先	C~E先
H23/10末以降→	A先	B1先	B2~B3先	C~E先

8. 統合的リスク管理

資本配賦と統合的リスク量



リスク計測基準

信用リスク	… 保有期間	1年
	… 信頼区間	99%
金利リスク	… 保有期間	1~60日
	… 信頼区間	99%
株価価格変動リスク	… 保有期間	20~125日
	… 信頼区間	99%
オペレーショナルリスク	… バーゼルII 基礎的手法	

※相関は考慮しておりません。

アウトライヤー比率 (H25/9末)

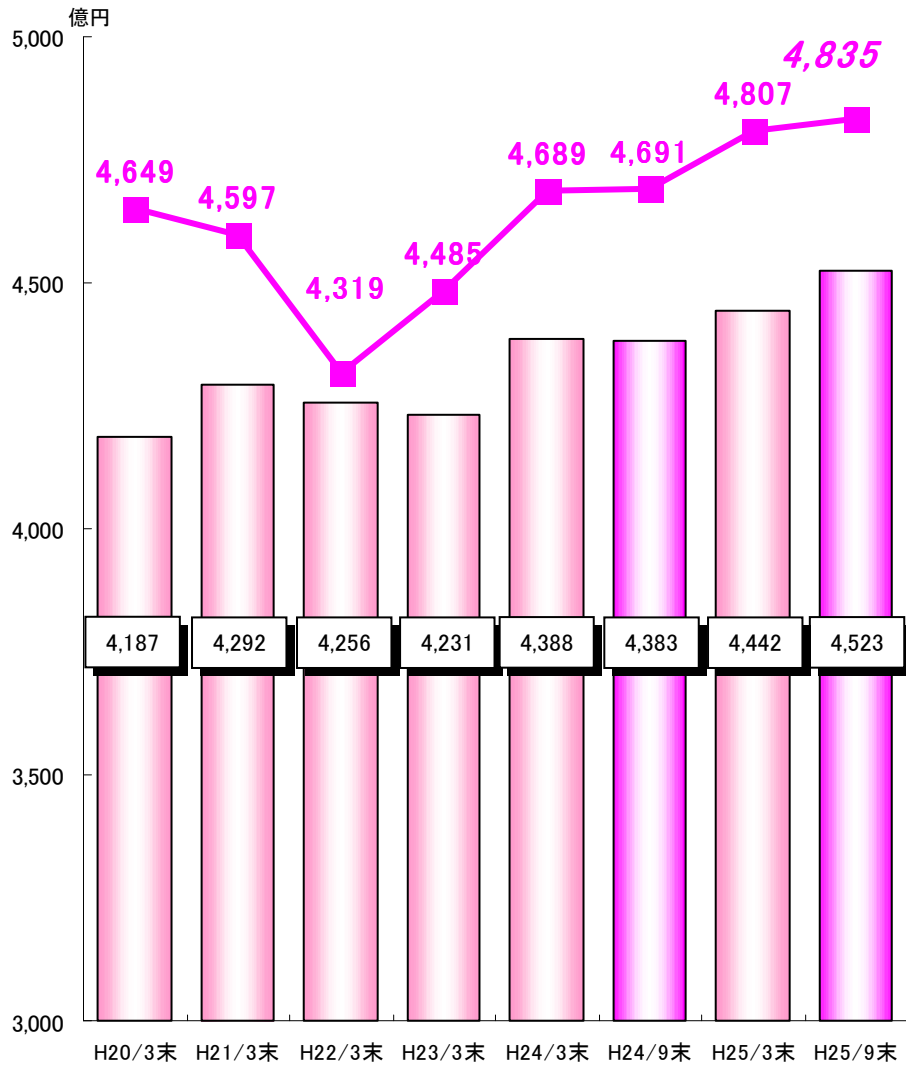
金利リスク量 (億円)	Tier I + Tier II (億円)	アウトライヤー比率
67 (103)	1,027 (1,016)	6.61% (10.19%)

※計測方法: 完全再評価方式 ※金利ショック幅: パーセンタイル値
 ※コア預金: 内部モデルにて計測 ※億円未満は切り捨て
 ※下段の()は前年度末値

※億円未満は切り捨てにて表示

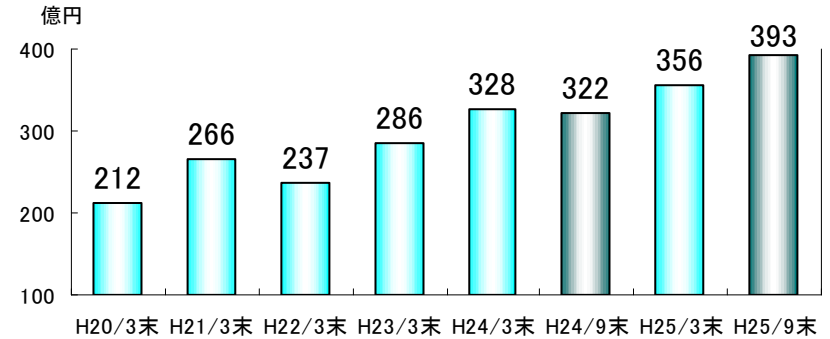
9. 福岡戦略の成果

1. 福岡県内における貸出金残高と事業者先数の推移

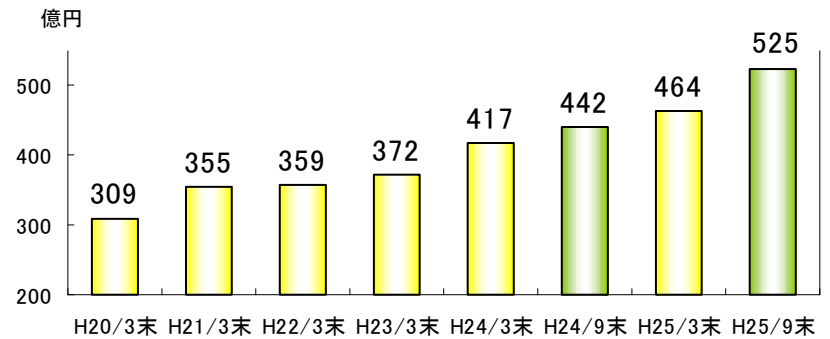


福岡県内事業者先数の推移
※億円未満は切り捨てて表示しております。

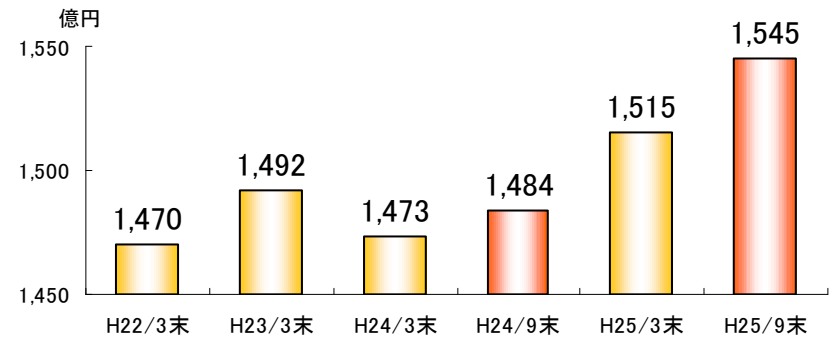
2. 法人渉外室の開拓先の貸出金残高推移



3. 融資開拓専担者の開拓先の貸出金残高推移



4. 小企業の貸出金残高推移



【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行
総合企画部
担当 山崎、大串

TEL 0952-25-4553

本資料は当行の財務状況に関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。